

ときがわ町子ども・子育て会議 会議録

会 議 の 名 称	令和２年度ときがわ町子ども・子育て会議
主 な 議 題	○ときがわ町子ども・子育て支援事業計画進捗状況について ○第２期ときがわ町子ども・子育て支援事業計画について
開 催 日 時	令和２年１１月２０日（金） １４時～１６時
開 催 場 所	就業改善センター ３階 集会室
会議録の公開（非公開・一部非公開）とその理由	公 開
出 席 委 員	谷野裕子委員、清水誠司委員、柳瀬博元委員、岡野由加里委員、遠矢真澄委員、金子麻美委員、市川義和委員、齊藤みゆき委員、栗田秀人委員、宮寺進委員、正木彰委員、岩崎和代委員
欠 席 委 員	吉澤真理子委員
事 務 局	福祉課 山崎俊樹課長、蓮沼清絵主幹、亀井美由紀主事補

審議等内容又は概要

１ 開 会

２ 委嘱書交付

３ あいさつ

４ 自己紹介

５ 役員選出

６ 議 題 規則第５条第１項に基づき、会長が議長となる。

（１）ときがわ町子ども・子育て支援事業計画進捗状況について

（２）第２期ときがわ町子ども・子育て支援事業計画について

・事務局より資料に基づき説明が行われた。

・意見・質問が以下の通り。

【委 員】

ファミリー・サポート・センター事業について、見込値よりも極端に低い、町外にある業者に申し込むことが原因の一つなのではないでしょうか。パパ・ママリフレッシュ切符と同じように、預ける人・預かる人・間をつなぐ人、みんなの顔がみえる環境のなかで行うことができるように、町内で事業をやってくれる方が現れないでしょうか。

【事務局】

川口に事業所のある業者に業務委託をしていますが、最近もう少しときがわ町に近いところにも事業所ができたことと記憶しております。この事業の最大のポイントは、受付業務を２４時間体制で整備していることにあります。２４時間体制で人を配置しているのにも関わらず、年間の利用が少ないと膨大な経費が無駄になってしまうため、どうしてもスケールメリットという部分でなかなか町内に立ち上がらないのだと考えられます。

【委員】

ファミリー・サポート・センター事業は自己負担があるというところも、利用数が増えない理由ではないでしょうか。また、パパ・ママリフレッシュ切符で足りない部分にファミリー・サポート・センター事業を使用するという考え方があり、更に36時間になったことで前よりも利用する切符の枚数も減る可能性もあるのではないのでしょうか。

【事務局】

パパ・ママリフレッシュ切符の使い方の傾向としては、使い切ろうという意図のある親御さんは前半セーブをして、後半に安心して使用するなどのペース配分で使用している方もいるように見受けられました。使い切った方もいれば、一部しか使っていない方もいらっしゃいました。

【委員】

パパ・ママリフレッシュ切符の受付を子育て支援センターときがわで行っていますが、利用者が少ない月や、利用者が集中する曜日や日にちがあります。登録されているサポーターさんは現在24名ですが、皆さん仕事を兼ねていて、仕事の合間に保育の時間を作ってくださいの方が多く、実際登録されていても活動されている方が10名ほどになります。そのため、都合が合うお子さんとサポーターさんをつなげるということに多くの時間がかかってしまいます。現在、支援センターのスタッフは2人常駐していますが、36時間使い切る方と1回も使わないで終わってしまう方もいるので、周知をして使い方をもっと伝えていく必要があると感じます。また、サポーターさんもうち10名は活動してくださっていますが、フルに活動されるという方が少ないので、定期的なサポーター研修や、ファミリー・サポート・センター事業の資格をとっていただいた方に兼ねていただくことを今後一緒に検討していただきたいです。

【事務局】

サポーターさんの登録状況の増減の変化に応じて、一定ではなく随時的に養成講座を開催したいと考えております。

【委員】

ときがわ町には数多くの公園があり、全部の公園を実際に見に行ったところ、「駐車場はない」「トイレはない」「日影がない」と整った公園が少なく、遊具自体老朽化が進んでいる公園が多くありました。改善して欲しいところがないか何人かお母さん達に聞いたら、やはり公園に関して意見が多く、そのなかでも整った大きな公園が1つ欲しいという意見が多くありました。今ある公園を見直し、利用していない公園は撤去をして、せせらぎホールあたりに1つにまとめるよう動くことはできないのでしょうか。

【事務局】

町の状況とすると、児童遊具に関しては福祉課と建設環境課の2つのセクションで行っており、都市公園系列や開発に付属したような生い立ちの公園については建設環境課が管理をし、他の児童遊具を福祉課で管理しております。毎年定期的に安全点検を専門業者に委託し、点検結果に基づいて修繕を行っており、福祉課においても建設環境課においても同様の維持管理をしているため、基本的には安全な遊具だと認識していただてよろしいかと思います。公園を1つに集約することで非常に難しいところは、財政的な措置をかなり有するという事です。地域から「もうこの公園はいりません」と区長さんを通じて話があれば撤去等できますが、こちらからアプローチをするのは難しい状況にあります。管理する側からすると、集約して1ヶ所にあったほうがとて

も管理しやすいため、既存の点在している公園が少なくなれば集約する方向にも動くとは思いますが、なかなか町全体としてはその傾向に至っていない状況にあります。これについては、皆さんから常に大きな声が寄せられて、どこかで最終的な判断をしていくと考えられます。

【会 長】

予算のこともあります、大きな公園が欲しいということを声にし続けることが必要ですね。

【委 員】

私は山で遊ぶということはあまりなく、山遊びとはどういうものかなと思っていたのですが、子どもから保育園で山登りに行った話や学童で川遊びをした話などを聞き、昔ながらの遊びから新しい遊びまで色々なことを教えてもらうことで、子ども達が色々なことを吸収してくれていることがとても嬉しく感じています。花菖蒲園に流れる川はとても綺麗ですが、この前の台風で形が変わってしまい、少しもったいないと感じました。また先ほど公園という話がありましたが、もっと遊びやすい川があっても良いのではないかと思います。なにもない更地でも子ども達なら遊ぶ気になれば遊べるのでそういった場所もあると、子ども達のなにか発見につながると感じます。

【会 長】

子どものトレジャーハンターみたいな遊び場になるかもしれないですね。

【委 員】

バスのダイヤが少し改善したようですが、着いたと思ったらバスが出発してしまうことがあります。バスのダイヤの会議などあるのでしょうか。もし会議があれば、ぜひとも利用者や利用者の保護者を参加させていただくと良いなと思います。また、ときがわ町は親が送り迎えをしていることが多いです。明覚駅前の駐輪場が21時台には閉まってしまい、部活をやって最終電車で帰ってくると利用できません。日曜日にも閉まっています。なかなか利用できず、余計親が送り迎えになってしまっています。車中の親子の時間も貴重な時間ではありますが、子どもが帰るまではお風呂に入れない、お酒も飲めないという親御さんもいると思います。駐輪場を維持することは難しいのでしょうか。

【事務局】

駅前の公園を含めた管理を担当していたことがありますが、その担当業務のなかで放置自転車の対応がありました。公園にバラバラに置きっぱなしになっていて、公園自体が危険だということで度々取り締まりを行って強制的に撤去したりしておりました。駅前の駐輪場は朝開く時間も遅いので、早い時間に行く人も駐輪場が使えないという問題があり、やむを得ず駅前に置いてしまうというお子さんもいました。

【委 員】

現在、明覚駅の跡のところを観光協会で整備をして買い取ることになっており、それに合わせて駐輪場も整備するという話をきいています。こういった形で対応するところまでは聞いてはいませんが、公園のなかにスペースを設けて、30台弱ぐらいの屋根付きの駐輪場を今年度事業で予定して造るとのことです。

【会 長】

観光協会が移動してくるので、少しは人の目が行き届くようになるかもしれません。学生にとって自転車が使えないのはすごく不便です。

【委 員】

乗合いタクシーなど色々な事業をやっていただいととても助かっていると思いますが、バスが空気を乗せて走っていることが多いです。例えば子どもを1年間格安で乗せることはできないでしょうか。友達の家や塾に行くときに、子どもが日常的にバスを利用するということはとても良い社会経験になり、そういう子が中学生や高校生になった時に、親の送り迎えが当たり前でなく、こういうときにはバスを利用するという考えにつながると思います。

【委員】

私の子どもが通学している時のバスの値段は高かった印象があるため、今の学生料金は安くなったと感じましたが、もっと安くしてくれたら乗る人は増えるのかなと思います。

【委員】

現在、バスではPASMO（パスモ）などが使用できるようになったので、そういうものを子どもに持たしておくのも便利かと思います。

【委員】

学校には安全見守り隊と称する学校ボランティアの方が、高齢者の方を中心に8名ほどで活動し、朝の通学路の見守りをしていますが、なかなか成り手がいらっしゃいません。実際に今ときがわ町でボランティアをやっている方も平均年齢75歳になります。その方たちが必死にスクールゾーンに入る車をとめてくださったり、子どもが石を投げはじめたのを止めてくださったりしています。他市町村のように、少し何かお礼なり報償費が出すことはできないのでしょうか。小学校では、何か少しでもお礼になればということで、給食のご招待や、今年の夏はクールタオルを配布しました。人材確保の面でなにか良い手立てがあればと思います。

【会長】

私も何か子ども達の見守りが出来ればということで、週1回オレンジ色の服をきて黄色の旗をふっているが、70～80キロぐらいのスピードで車がくると非常に恐いです。

【委員】

自宅の前を出るだけでもよいです。見ていただくだけでも十分な効果があると思います。

【会長】

大切な事ですね。地域の皆で見守らなければならなくて、たぶんボランティアの方は何か欲しいとは思っていないとは思いますが。

【委員】

本当に気持ちよくやってくださっていますが、どうしても後継者が見つからず、その理由を考えると、他市町村との情報交換のなかでやはりそういう話につながります。

【事務局】

今社会的構造のなかで、年金の受給がどんどん繰り上げになっていて、時間的ゆとりのある方がだいぶ減り、それによりシルバー人材センターに新規で登録してくれるお年寄りがかかり減ってきています。65才になっても現役で働いている方が大勢いらっしゃるということで、社会構造の変化というのもこの辺が上手くいかない原因のひとつになっていると考えられます。

【委員】

多くの方が参加している小川町や嵐山町などの他市町村のようになることがときがわ町の課題です。良い方向に動くきっかけ作りの1つとして、お礼という手段もあるかもしれないですね。

【委員】

今回のお礼について、どのくらいの頻度で活動して下さる方にお渡しすればよいのかという問題がありますが、そういった声があることは伺っています。現在他市町村についても聞いておりますので検討させていただければと思います。

【委員】

ときがわ町に引っ越して子育てがしたいという方がたくさんいるが対応できていないという現状があります。前回の会議でも提案しましたが、一度広報で少子化特集を組み、ときがわ町の少子化の実態を広く町民の皆さんに伝えて、皆でこの問題を広く共有できないでしょうか。

【事務局】

ちなみに平成30年度に福祉課から出産祝い金を差上げた方が29名、昨年度は40名でしたが、今年は今現在15名で残りの母子手帳から推測すると20名ぐらいということで危機的な状況にあります。

【会長】

どんどん減っていますよね。「ウェルカムときがわ」という何かキャンペーンをはらないと、個人的には移住促進の宣伝の取材を受けますが、家がないと難しいですね。

【事務局】

規模は小さいですが、建設環境課において明覚小学校から近い場所に区画分譲の準備をしています。現在測量設計を行っていて、来年度には造成工事を行う予定で、3～4棟の区画分譲をしたいという話を伺っています。

【委員】

今朝のニュースで東京からの転出が多いという話をされていて、長野県茅野市の分譲地が売れているようです。新型コロナウイルスの関係もあって、そういう物件を探している人は結構いるので、ものがあればときがわ町は東京に近いのでよいのではないのでしょうか。

【事務局】

あとはマッチングの関係で、来たいと思っている人の値段と貸したいと思っている方の値段のマッチングが難しいです。やはり来た人は全部含めて3万円ぐらいで借りたいと思っている方が多いようですが、貸し手側のなかでその金額でというのは少ないという現状があります。また、移住以外にも結婚などの支援を根底のところから広めることも重要だと考えます。

【委員】

小学生を持つお母さんがよく言うのは、夏休みの過ごし方に苦労しているとのこと。

【委員】

私が働いているため、学童で川遊びや虫探しをして過ごしていますが、土日は私も家にいるので夏らしい遊びがしたいということで川や虫とりに行きますが、虫を採りに行ったことがないため場所がわからず困ってしまいました。

【委員】

私の子どもは学童に行っていないので家にいますが、ずっといるとお互いにイライラしてけんかが増えてしまうので、親も子どももお互いに息抜きができる場所、親としても安心して遊びにいかせることが出来る場所があるとすごく良いなと感じます。また、川が整備をしすぎてしまって下に下りられず、汚くて臭います。昔はすごく綺麗だったのでとても残念です。せせらぎホルの川もとても良い川なのに水が流れず、草が生い茂っていてもったいないなと「せせらぎ」と

いうぐらいなのでもう少し綺麗していただきたいです。

【委 員】

せせらぎホールの水路は、元は用水からきている水なので、田んぼが終わると残念なことに水が流れなくなってしまうです。

【委 員】

ヘドロがすごくて、子どもは降りてよいか聞いてきますが、それを見て止めてしまうことがあります。

【委 員】

毎年、都幾川中学校の生徒さんが掃除をしてくれますが、今年はコロナもあって掃除できていないということもあるかと思えます。

【委 員】

せせらぎホールの木質ルームについて、すごく良いところを造っていただきましたが、本棚やおもちゃを置く台をせっかく木の町なので、木で作った物にすると更に良い空間になるのではないのでしょうか。

【委 員】

私も子育てが終わって、一番大変だったことは何かなと考えると、公園や交通の便でした。まず、バス停に自転車置き場があればバス停まで自転車で行けるなということを子どもとよく話をしていました。また、私の家は町のはずれにあり、工業団地のなかなので大きい車がすごく通りますが、道にガードレールがなく、何度か申請をしましたがつけてもらえていない状況です。ぜひ、町のはずれの部分でも歩道があったりガードレールがあったり、どこを子どもが歩いても安全であるような道を造っていただけると、もう少し親の負担が減るのではないかと思います。友達にはすごく自然もあるし良い人達もいるけれど、どこにも行けないしお勧めしないよという話をしていますが、もう少し今の話の課題が改善されればお勧めできるのかなと思い、そこがとても残念です。

【会 長】

貴重なご意見ありがとうございました。こういう御意見も新しいメンバーが加わってでてくるものですね。時間の都合もありますので今回の会議は終了ということでよろしいでしょうか。

《意見等なし》

以上で、議事を修了とさせていただきます。議長の任を解かせていただきます。長時間にわたり慎重審議いただきましてありがとうございました。

【事務局】

議事の進行ありがとうございました。審議いただいた内容につきましては、来年度の会議にて進捗状況を報告させていただきます。

7 連絡事項

《事務局から連絡事項の説明》

8 閉 会 副会長

議事録署名欄

谷野裕子 ●

市川義和 ●

清水誠司 ●